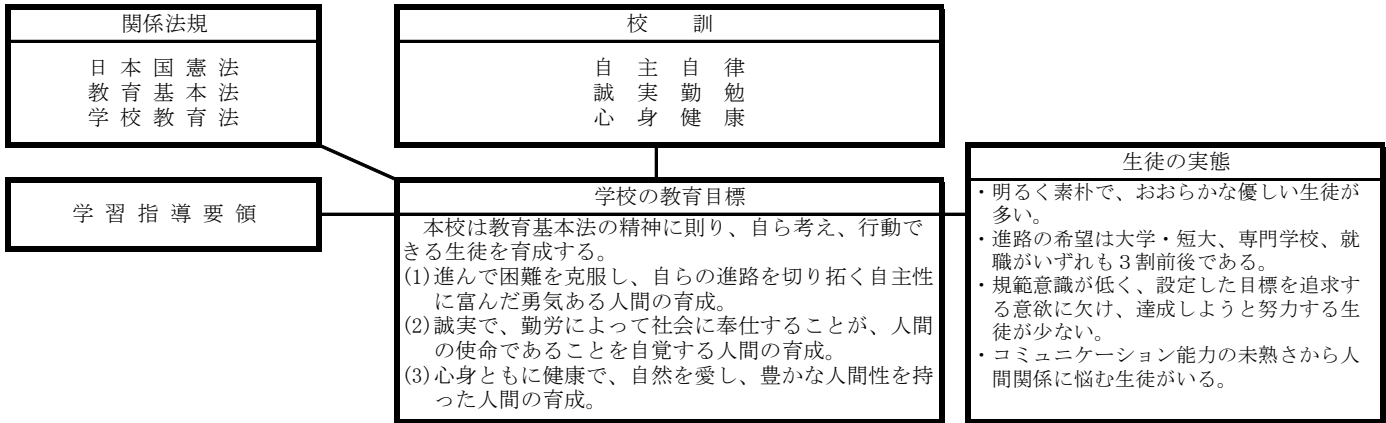


令和 2 年度 道徳教育全体計画

青森県立六戸高等学校



道徳教育の推進体制		
方針：校長	⇒ 計画：校務運営委員会 ◎道徳教育推進教師，教頭，各分掌主任，各学年主任	⇒ 運営：各学年 担任，副担任，学年付

道徳教育の重点目標
(1) 基本的な生活習慣の確立を図り、校則や決まりを守る態度を育て、規範意識を高めるとともに、社会人としての生きる力を育てる。 (2) 他者の人権や考えを尊重し、周囲と協力して取り組む態度を育て、あらゆる場面で達成感や成就感を体得させることで、目標を追求する意欲と行動力を高める。

学年目標		
1 学年	2 学年	3 学年
1 高校生としての自覚を持ち、基本的な生活習慣を身に付けながら自ら考え積極的に行動する力を養う。 2 正しく自己を見つめ、お互いの人格を尊重し、愛情を持って接する人間性を養う。	1 中堅学年としての自覚を持ち、集団の中で協力する態度を育てる。 2 将来に向けて自発的に行動し、学校行事へ意欲的に取り組めるよう支援する。	1 最高学年としての自覚を持ち、よりよい人生観・価値観を形成し、社会の一員としての自覚を持たせる。 2 良き社会人を目指して積極的に自己啓発に取り組む力を養う。

各教科・科目、特別活動、総合的な学習・探究の時間における関連							
各教科・科目の目標							
国語	表現力と理解力を育成し、言葉で伝え合う力と思考力や想像力を伸ばすことを通じて、国語を尊重する態度を育てる。	地理歴史	世界の様々な伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に貢献する態度を育てる。	公民	人間としての在り方生き方についての自覚を深め、教科を通して道徳心を深く学び、民主的な形成者としての資質を養う。	数学	事象を数学的に考察し、表現する能力を高めるとともに、工夫して生活や学習をする態度を育て、道徳的判断力を養う。
理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養い、科学技術に対して道徳的判断力や真理を大切にすることを育てる。	保健体育	公正、協力、責任、参画などに対する態度を育成し、規範意識や物事を遂行しようとする意欲を養う。	芸術	芸術を愛好する心情を育て、美しいものや崇高なものを尊重し、豊かな情操を培い、個性を尊重する精神を養う。	外国語	英語や外国の文化を理解することを通して、日本人としての自覚を持ち、世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を養う。
家庭	望ましい生活習慣を身につけ、勤労の尊さや意義を理解するとともに、自分の生き方を向上しようとする態度を育てる。	情報	情報及び情報技術を活用するための知識や技術を習得し、情報社会における情報の意義やモラルを理解させる。	商業	商業に関する科学的な見方や考え方を養い、倫理感を持って情報社会に参画する態度を育成する。	ボランティア	ボランティア活動を推奨し、多くの人々との関わりを通して、社会奉仕の精神を養う。
特別活動の目標							
下記にあげる(1)～(3)の特別活動を通して、人間としての在り方生き方を学ぶ。 (1) ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 (2) 生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 (3) 学校行事を通して、望ましい人間関係の形成を図り、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。							
総合的な学習の時間の目標							
(1) 自ら課題を見付け、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付ける。 (2) 学び方やものの考え方を身に付け、他者と共同して問題の解決や探究的な活動に主体的、創造的に取り組むとともに、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。 (3) 各教科・科目等で身に付けた知識や技能などを教科横断的に関連付け、それらを総合的に働かせた学習を行うことができるようにする。							
総合的な探究の時間の目標							
(1) 自ら課題を発見し、その解決に必要な知識及び技能を自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる資質や能力を身に付ける。 (2) 校内の活動だけでなく、地域住民とも積極的に関わり、協働して問題の解決や探究的な活動に主体的、創造的に取り組むとともに、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。 (3) 各教科・科目等で身に付けた知識や技能等を教科横断的に関連付け、それらを総合的に働かせた学習を行うことができるようにする。							

家庭・地域・関係機関
(1) PTA活動を通して保護者との連携を図る。 (2) インターンシップなどの活動を通して地域との連携を図るとともに職業観を育成する。 (3) 関係機関と連携を図り、講演や体験活動を通して社会性に満ち溢れた生徒の育成をする。